

令和元年6月5日

令和元年度第3回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和元年度第3回教育委員会定例会会議録

日時 令和元年6月5日(水)  
10時00分～11時10分

場所 教育委員会室

出席者

東 條 教 育 長	森	教 育 次 長	長
島 津 委 員	前 田	務 校 職 務 員	長
今 村 委 員	玉 利	務 校 職 務 員	長
原 之 園 委 員	橘 木	務 校 職 務 員	長
石 丸 委 員	池 田	務 校 職 務 員	長
堀 江 委 員	山 本	務 校 職 務 員	長
	福 中	務 校 職 務 員	長
	西 村	務 校 職 務 員	長
	久 木	務 校 職 務 員	長
	岩 上	務 校 職 務 員	長
	石 田	務 校 職 務 員	長
	岩 下	務 校 職 務 員	長
	紺 宮	務 校 職 務 員	長
	野 村	務 校 職 務 員	長
	河 黒	務 校 職 務 員	長
	荒 今	務 校 職 務 員	長
	中 堂	務 校 職 務 員	長
	園	務 校 職 務 員	長

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 学校職員の懲戒 処分について</p>	<p>学校職員の非違行為について、教育公務員としての責任を問おうとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第2号 鹿児島県産業教育審議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県産業教育審議会委員の任期満了に伴い、次期委員を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第3号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県スポーツ推進審議会委員の1人の辞任に伴い、その後任を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第4号 鹿児島県社会教育委員の任命について</p>	<p>鹿児島県社会教育委員の辞任に伴い、後任の委員を委嘱しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第5号 鹿児島県立博物館協議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県立博物館協議会委員の任期満了に伴い、次期委員を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>

# 会 議 要 旨

## 1 開会

## 2 会議の公開等について

議案第1号，議案第2号，議案第3号，議案第4号及び議案第5号については，非公開で審議する旨，教育長から発議があり，全会一致で議決された。

## 3 令和元年度第2回教育委員会定例会の会議録の承認

承 認

## 4 その他

### (1) 教育委員会の事務の点検・評価について

(総務福利課企画監) 教育委員会の事務の点検・評価について説明

(島津委員) 第2期県教育振興基本計画について，数値目標があるが，数値目標のフォローをしっかりとしていただきたい。それを踏まえて次の第3期の計画等に生かす必要があると思うので，それぞれの施策の評価と同時にフォローもお願いしたい。

(総務福利課企画監) 第2期計画については，毎年度点検し，改善を行い，アップデートした常により良い状態で施策を展開していた。しかし，当初目指した部分がどうであったかという点は，しっかりと検証しなければならない部分である。数値目標については達成できたか否かということだけではなくて，なぜそうであったかということ各課で検証してまいりたい。

(原之園委員) 行政の継続ということももちろん大事だが，見直しということも大事になってくる。評価委員については継続的な面，見直しの面から，同じ委員を委嘱するのか。または，新たな委員に加わっていただくのか。その辺りの見通しはいかがか。

(総務福利課企画監) 第2期計画をベースにして継続されるものとして第3期計画がある。もちろん，改善する部分や時代の流れに沿って新しく付け足す部分もあるが，当然，連続性も求められる。委員の選考にあたっては，第2期の部分を御存知の方を含めるといった点も反映させながら選考させていただきたい。

(今村委員) 毎年アップデートして頑張っていらっしゃる。この間のいじめ問題や公安委員との意見交換等で少し感じるところが，教育委員会がどれだけ頑張っても，解決できないというか，もしくは我々の範囲を超えた部分だから両方の落とし穴になってしまうという部分は必ず存在する。どうしても改善を必要とすると範囲を超えるため，評価対象の項目として入ってこないということになってしまう。それぞれに頑張るが結果的に落とし穴の部分は触れない

ということが起こってしまう。このことは改善又は解決を前提にしたものなので、不可能な部分に触れないということになると、結果として大きな落とし穴になる。今後の課題として、教育委員会としてはなかなかアンタッチャブルな部分とか、範囲を超えていて解決できない部分というのも見える化しておかないといけないのではないかと思う。その部分については改善を前提に取り組んでも、結果、改善できないということになってしまう。しかし、そのような部分もしっかりあるというか、それが何なのかということをはっきりしておかないと、結果的にずっと解決しないまま終わってしまうことが考えられる。教育委員会だけの問題ではないが、知っておかなければならないことだと思う。

(総務福利課企画監) 多方面から漏れのないようにという形で、我々も網を張ってやっていくわけだが、例えば、御指摘の関連するところでは、今回評価の対象にある「生徒指導の充実」という施策があるが、これは例えば、義務教育課の事業としてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、いじめの防止対策推進事業がある。また、今年度の新しい事業では、生徒指導実践力・チーム向上プログラム、子どものこころのSOS相談事業という形で多方面から事業を組んでおり、担当の義務教育課や高校教育課だけではなくて、地域や家庭教育の部分もあるので社会教育課とか、人権問題として人権同和教育課とか、あるいは部局を超えて青少年男女共同参画課の事業も施策の中にパッケージとして組み入れるなど、できるだけ多方面から漏れのない形で施策や事業を組んでいるところ。委員のおっしゃったように、おそらくこれは、こうすれば絶対解決するというものではなく、努力し続けていく、あるいは注視し続けて漏れがないかという形で点検、評価をし続けていくしかないかなという認識を持っている。今後とも事務局としてはそのような視点で全部洗い出してみたいと思う。

(今村委員) 今のお話の中でも漏れがないようにとあったが、例えば、人権と見守りというのは矛盾する部分が必ず生じる。そうすると解決は多分できない。どういう部分がそうなのかというところの見える化は必要になってくると思う。例えば、子供のSOSについて、公安委員との意見交換会でもあったが、それは病気だから病院やお医者さんに任せれば良いという考え方はよく分かる。しかし、正直なところ、医者も解決できないということが分かっている、それでも医師に振られたら、一応それが解決ですと書くけど、本当の根本的な解決にはならない。ならば、スクールカウンセラーの方に任せたらと言うが、特に、いじめの問題も含めて思うのは、学校の先生が生徒の心に寄り添うということは当然大事なことだが、結果、先生が生徒の心をなぜ分からなかったのか、理解できなかったのかという発想については、少し疑問に感じる。人の心は誰も分からないのに、そこまで理解しろといった不可能なことを改善目標にするようなことは、かえって不幸になる。そういった方向性の改善みたいなものが少し見受けられるのかなと思う。

そこで注意すべきは、人の心は絶対本人以外には分からないということ。どれだけ目の前で笑っていても心の中では泣いているかもしれない。最終的に事件が起こった後で、心に寄り添っていなかったと言われてもそれは無理なことだと思う。不可能なことを前提にどのようにシステムを組むのかという考えに至らなければ、漏れをどんどんなくすと言いながらも、漏れは絶対起こる、もしくは、どれだけやってもブラックボックスの部分が生じる。このような発想の在り方も含めて、考える必要があると思う。

## (2) ふるさと母校応援プロジェクトの寄附募集開始について

(総務福利課長) ふるさと母校応援プロジェクトの寄附募集開始について説明

(島津委員) このような形で各学校に寄付金が集まるというのは非常に良い取組だと思う。ふるさと納税というのは、少し誤解している部分があるかもしれないが、自分の県にふるさと納税してもかまわないのか。県外の人が鹿児島県にふるさと納税するというのではなく、鹿児島県民が鹿児島県にすることとは可能なのか。

(総務福利課長) 可能である。

(島津委員) ふるさと母校応援プロジェクトの寄附金について、こういった仕組みは鹿児島県として条例のようなものを整備することで、仕組みを作ったのか。または、ふるさと納税の制度をうまく活用して、このようなことができたのか。

(総務福利課長) ふるさと納税の仕組みは、ある特定の施策に対してとか、施策を指定しないで御協力いただくというような形であるが、今回のプロジェクトは、他県で実際にこのような制度を活用しているところがあり、県でなにか法的なものを整備したとかいうことではない。

(島津委員) 法的なものを整備しなくても、このような取組ができたということか。

(総務福利課長) そのとおりである。

(島津委員) 県民もふるさと納税をすることができるとなれば、県内にもしっかりとPRしていただくと同時に、県外にもPRしていただく必要がある。

(総務福利課長) ふるさと母校応援の場合には、寄附を行う学校を指定していただくこととなる。併せて、税の減税措置も受けられる。

(島津委員) その際もやはり2千円かかるのか。

(総務福利課長) そのとおりである。

- (石丸委員) 特産品を送らないというのは、ふるさと母校応援プロジェクトに関してだけなのか。
- (総務福利課長) そのとおりである。他の部分に関しては返礼品を送っている。
- (石丸委員) 例えば、学校の生徒のお礼の品物というのは、学校の自己ブランドとかそういうものも対象になるのか。
- (総務福利課長) 学校の方で生徒が作った作品であるとか、お礼の手紙であるとかそのような形での返礼ということを考えている。
- (石丸委員) 自己ブランドの生産物などは、生徒の作品ということか。
- (総務福利課長) 学校で作っているものであれば、その学校のものということで返礼ができる。特定の返礼品があるという形にはなっていない。
- (石丸委員) これは母校だけではなく、自分の好きな学校にもできるのか。
- (総務福利課長) そのとおりである。
- (石丸委員) 寄附をした学校が、寄附金をどのように活用するかという内容は、ホームページ等で報告するのか。
- (総務福利課長) 各学校のホームページ等でお知らせする。例えば、有名な方を招いての講演会の実施や部活動の支援のためのスポーツ器具購入、音楽活動のための楽器購入というような事業がある。その内容について同意をいただけるということであれば、母校でなくても、地元で頑張っている学校に対して寄附をすることができる。
- (石丸委員) 学校側が寄附金をこのようなものに活用しましたということを発表するようなことはないのか。
- (総務福利課長) 寄附をいただいた方々には、実績としてどのように活用しましたというのは御報告を行う。
- (石丸委員) 寄附した方だけに後から報告するということか。
- (総務福利課長) 寄附金の額によって、どの程度事業が実施できるかということが決まってくる。今年度でいくと、12月までに寄附をいただいた金額の半分が来年度の学校予算に反映され、事業実施後に寄附をいただいた方に活用方法とともに御報告するといった形になる。
- (石丸委員) 寄附された方に事業の報告をするということだが、半分は県に入ってくるということであれば、県の方も今年度はこれだけ集めてこの事業を実施したということ報告するような場はないのか。

(総務福利課長) ホームページ上で御報告をする予定である。

(原之園委員) ホームページ以外で、例えば、県外にはパンフレット等を置く場所があるかなど、県内外の広報について教えてほしい。

(総務福利課長) 県外の鹿児島県の事務所にパンフレットを置いて周知をすとか、あるいは、各学校においては、県外での同窓会でパンフレットで周知をしていただく。

(原之園委員) 同窓会活動とリンクをする場面があるということによろしいか。

(総務福利課長) そのとおりである。

### (3) 令和元年度鹿児島県教育支援委員会委員の委嘱について

(特別教育支援室長) 令和元年度鹿児島県教育支援委員会委員の委嘱について説明

(島津委員) 教育支援委員会は助言をするという業務があり、最近は特別支援を必要とする子供の増加という傾向があるが、助言の件数及び年間の活動状況を教えてほしい。

(特別教育支援室長) 昨年度の県教育支援委員会において、特別支援学校の就学に関する相談件数は241件あった。その前の年度が、234件であるので件数としては増加傾向にある。委員の主な業務の中に障害児巡回教育相談があり、市町村の就学相談等に関して要望がある市町村へ出向いていただき、助言等を行っていただいている。昨年度は12市町村、延べ35人の委員に巡回相談に行っていた。

### (4) 「感動は無限大 南部九州総体 2019」鹿児島県高校生活動第1回総会について

(高校総体推進室長) 「感動は無限大 南部九州総体 2019」鹿児島県高校生活動第1回総会について説明

### (5) 令和元年度全国高等学校総合体育大会総合開会式の一般観覧者募集結果について

(高校総体推進室長) 令和元年度全国高等学校総合体育大会総合開会式の一般観覧者募集結果について説明

## 5 議案

### 議案第1号 学校職員の懲戒処分について

(非公開)

### 議案第2号 鹿児島県産業教育審議会委員の任命について

(非公開)

### 議案第3号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について

(非公開)

議案第4号 鹿児島県社会教育委員の委嘱について  
(非公開)

議案第5号 鹿児島県博物館協議会委員の任命について  
(非公開)

6 閉会